

県町村議長会主催による議員と事務局職員を対象に研修会が豊見城中央公民館で行われ、西原町から16名の議員と3名の事務局職員が参加しました。



- 「沖縄県政の主要課題～復帰31年の現状と展望」
講師 前泊博盛氏
(琉球新報社編集局 編集委員・論説委員)
- 「総選挙と日本政治の行方」
講師 成田憲彦氏
(駿河台大学副学長・法学部教授)

町村議会議員・事務局職員研修会

8月13日～29日の日程で、南米移住95周年記念式典・視察訪問団として町から与那嶺議長と古堅収入役が参加し、移住者の激励と交流を深めてきました。議長から5ページにわたる報告書が提出されていますが、一部だけ掲載します。

アルゼンチンにおける西原町人

日系人の70%が県人で、西原町人は約600名、16年ぶりに会員名簿を再調整し、3年後の町人会結成50周年までには仕上げる予定。

約50名の参加による町人会との懇談・歓迎会では、西原町の様子やアルゼンチンの町人会の近況が語られた。会場にはこれまでの留学体験者4、5名も参加し、永年にわたる海外子弟研修制度による子ども達の留学制度への御礼と、今後の継続を強くお願いされた。

議長の南米視察報告

編集後記

いよいよ師走、今年も残り1ヶ月となりました。市町村合併に関する3市町村の枠組みを問う住民投票も不成立に終わり、任意協議会も解散となりましたが、賛否両論ある中、住民発議も提出されており合併特例法の期限である平成17年3月に間に合うのか、間に合わなくても合併するのか、西原町の将来を左右する重要な判断を議会は迫られています。議会傍聴者が少ないように思います。議会だよりの紙面はごく一部ですので、議案がどのように審議されているのか是非、議会を傍聴しましょう。

仲宗根

ブラジルの西原町人

日系人の80%が県人と云われる。空港に迎えてくれたのは町人会の有志の皆さんで、組織的まとまりが弱く、町の海外子弟研修制度への参加も過去14回のうち3、4回程度しか研修生を派遣していない。町人会再建の準備が進められ11月23日の忘年会で役員を選出し、正式に組織の再建をしたいとのうれしい話を幹部の皆さんから聞くことができた。約100名の参加による懇談・歓迎会では、海外子弟研修制度の内容や次年度の派遣について意欲的な声が聞こえた。

